

学区交歓スポーツレクリエーション大会 開催要項

- 1 主催
岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
- 2 共催
岡崎市、岡崎市教育委員会
- 3 日時
令和7年12月7日（日）午前9時 開会式
- 4 会場
岡崎中央総合公園 総合体育館
- 5 種目
 - ・ソフトミニバレーボール【女性の部、混合の部】
 - ・ファミリーバドミントン【一般の部、ファミリーの部】
- 6 参加規程
別紙1のとおり
- 7 競技方法
別紙2のとおり
- 8 コート・用具
 - ソフトミニバレーボール
 - (1) コートの大きさは、バドミントンダブルスコートを使用する。
 - (2) ネットの高さは、2.2mとする。
 - (3) ボールの大きさは、円周80cmとする。
 - ファミリーバドミントン
 - (1) コートの大きさは、バドミントンダブルスコートを使用する。
 - (2) ネットの高さは、1.55mとする。
 - (3) 用具(ラケット等)は、主催者で用意したものを使用する。ただし、各自持参した日本バドミントン協会認定のものも使用可能とする。
- 9 競技規則
 - ソフトミニバレーボールは、ソフトミニバレーボール競技規則に準ずる。
 - ファミリーバドミントンは、日本ファミリーバドミントン協会ルールに準ずる。
- 10 参加費
1チーム 5,000円
- 11 表彰
 - 各部上位3チームには、賞状及び賞品を授与する。
 - 各部優勝チームには、トロフィーを授与する。
 - 参加者全員に参加賞を授与する。
- 12 申込み
 - 出場チームは、各学区スポーツ推進委員に必ず確認した上で、以下のQRコードから電子申請（あいち電子申請・届出システム）により、申込みを行う。
 - 申込期限：10月21日（火）
 - ※ 期限までに学区内での出場チームが決まらない場合は、各学区スポーツ推進委員が事務局まで連絡すること。



裏面あり

13 監督会議

11月17日（月）午後7時30分から、岡崎市福祉会館6階大ホールにて開催する。参加費を持参の上、チーム代表者1名（監督または主将）が出席すること。組合せ抽選は、受付順に行う（午後6時45分受付開始）。

14 審判講習会

11月26日（水）午後7時から、岡崎市体育館にて開催する。主審及び副審を務めるかたは、「審判講習会」に参加すること。

15 大会日程

受付	午前8時10分から午前8時40分まで
開会式	午前9時（参加者全員）
試合開始	午前9時20分
閉会式	午後4時30分頃

16 応急処置

主催者は、大会運営について危険のないよう安全に留意する。しかし、事故等が発生した場合、応急処置はするがその後の責任は負わない。その旨を承知の上で参加すること。なお、参加者は岡崎市民活動総合補償保険の対象となる。

17 その他

- (1) 競技場には、役員及び選手以外は入らないこと。
- (2) メンバー変更は、当日受付に申し出て変更すること。それ以後は認めない。
- (3) 試合の進行状況により、他コートで試合をすることがある。この場合、速やかに指示に従うこと。
- (4) 参加者は、健康管理に留意して各自の責任において参加すること。
- (5) 高校生以下の参加者は、保護者の同意を得て参加すること。
- (6) 大会プログラム等に参加者氏名、所属を掲載することがある。
- (7) 大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載、放映権は主催者に属する。

連絡先：岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会事務局
（岡崎市社会文化部スポーツ振興課）
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
電話 23-6363 FAX23-7182
メール spo-sui@city.okazaki.lg.jp

学区交歓スポーツレクリエーション大会 ソフトミニバレーボール 参加規程

- 1 監督及び選手は、岡崎市に在住、在学、在勤の者であること。
- 2 学区で2チームを出場上限とする。出場する種目及び部の選択については自由とする。
 - 例1：ソフトミニバレーボール混合の部へ1チーム、ファミリーバドミントン一般の部へ1チーム出場…○
 - 例2：ソフトミニバレーボール女性の部へ2チーム出場…○
 - 例3：ソフトミニバレーボール女性の部へ2チーム、ファミリーバドミントンファミリーの部へ1チーム…×(学区で2チームの出場上限を超えているため)
- 3 常磐ブロック及び額田ブロックの学区は、ブロック内でのチーム構成を認める。
- 4 選手は、学区名及びチーム名が分かるビブス等を着用すること。
 - 例：「○○学区A」「○○学区B」
- 5 原則として、チームの編成は町内単位とする。
- 6 監督及び選手は中学生以上であること。
- 7 チームは監督1名、選手8～12名で構成する。監督が選手を兼ねる場合であっても、選手登録は最大12名までとする。
- 8 試合には出場せず、審判のみ行うメンバーを登録することを可とする。
チーム内に審判を行うことが困難なメンバーが多い場合は、可能限り「審判のみ行うメンバー」を登録する等して対応すること（学生のかたも、得点係等に登録する等）。

学区交歓スポーツレクリエーション大会

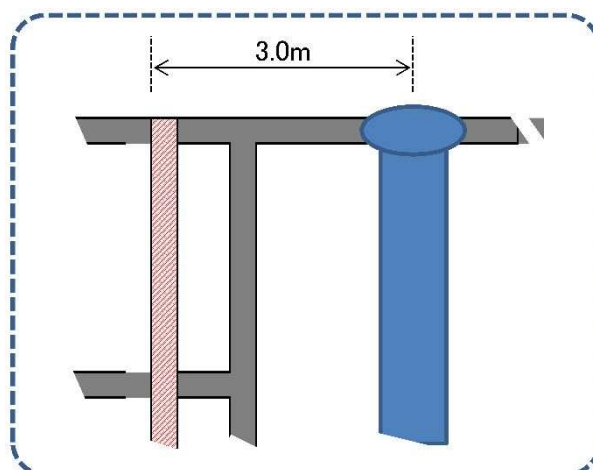
ファミリーバドミントン 参加規程

- 1 監督及び選手は、岡崎市に在住、在学、在勤の者であること。
- 2 学区で2チームを出場上限とする。出場する種目及び部の選択については自由とする。
 - 例1：ソフトミニバレーボール混合の部へ1チーム、ファミリーバドミントン一般の部へ1チーム出場…○
 - 例2：ソフトミニバレーボール女性の部へ2チーム出場…○
 - 例3：ソフトミニバレーボール女性の部へ2チーム、ファミリーバドミントンファミリーの部へ1チーム…×(学区で2チームの出場上限を超えているため)
- 3 常磐ブロック及び額田ブロックの学区は、ブロック内でのチーム構成を認める。
- 4 選手は、学区名及びチーム名が分かるビブス等を着用すること。
 - 例：「○○学区△△チーム」「○○学区□□チーム」
- 5 原則として、チームの編成は町内単位とする。
- 6 「一般の部」と「ファミリーの部」のそれぞれの要件は以下のとおりとする。
 - ・一般の部
中学生以上であること（性別は問わない）。
 - ・ファミリーの部
小学生（3年生以上）2名、中学生以上1名の合計3名で試合を行うこと。
- 7 チームは監督1名、選手3～6名で構成する。監督が選手を兼ねる場合であっても、選手登録は最大6名までとする。
- 8 試合には出場せず、審判のみ行うメンバーを登録することを可とする。
チーム内に審判を行うことが困難なメンバーが多い場合は、可能限り「審判のみ行うメンバー」を登録する等して対応すること（学生のかたも、得点係等に登録する等）。

学区交歓スポーツレクリエーション大会 ソフトミニバレーボール 競技方法

- 1 予選リーグ（各部でリーグ戦を行う。）
- 2 決勝トーナメント（予選リーグ各組 1 位チームが進出する。）
ただし、出場チーム数により変更あり。
- 3 15 点先取の 3 セットマッチとする。
なお、決勝トーナメントにおいては、試合進行状況により 3 セット目を縮小するなど特別ルールを設けることがある。
- 4 順位の決定方法は、①勝敗 ②得失セット数 ③得失点差 ④直接対戦した場合はその勝敗を基準とする。①～④で決定しない場合には、当該チームの抽選で上位チームを決定する。
- 5 審判は、試合のないチームで行い、登録メンバーから選出すること。
（主審 1 名、副審 1 名、線審 2 名、得点係 2 名）
なお、決勝トーナメントの決勝戦についてはスポーツ推進委員が審判を行う。
- 6 棄権チームのあるブロック、試合の取扱いは以下のとおりとする。
 - ① 棄権チームの全ての試合のスコアを 15-0 の 2 セットとし、相手チームの勝利とする。
 - ② 棄権チームのあるブロックの順位決定は、すべての試合を対象とする。
ただし、1 位チームの決定については、勝ち試合数の多いチームとする。
勝ち試合数が同数となった場合は、対象チームによる 1 セットマッチを行い決定する。
- 7 混合の部は、自陣コート内における男性の人数は 2 人までとし、常に男性が 1 人以上自陣コートに入らなければならない。
- 8 混合の部において、男性のアタックライン後方から、ジャンプしながらの返球（3 球目）もしくはジャンプアタックは可とする。ただし、アタックラインを踏んだ場合または越えた場合は失点とする。また、着地（両足）もアタックラインを踏んだり超えたりしてはいけないこととする。
- 9 アタックラインは自陣コートのセンターに設ける。

※アタックライン：ネットから 3.0m の位置に幅 4 cm のラインテープを貼る



学区交歓スポーツレクリエーション大会

ファミリーバドミントン 競技方法

- 1 予選リーグ（各部でリーグ戦を行う。）
- 2 決勝トーナメント（予選リーグ各組1位チームが進出する。）
ただし、出場チーム数により変更あり。
- 3 15点先取の3セットマッチとし、デュースはなしとする。
- 4 順位の決定方法は、①勝敗 ②得失セット数 ③得失点差 ④直接対戦した場合はその勝敗を基準とする。①～④で決定しない場合には、当該チームの抽選で上位チームを決定する。
- 5 審判は、試合のないチームで行い、登録メンバーから選出すること。
（主審1名、副審1名、線審2名、得点係2名もしくは1名でも可）
審判の人数が不足する場合は、スポーツ推進委員が審判を行う場合もあるが、原則参加者のみで審判を行うものとする。
なお、決勝トーナメントの決勝戦についてはスポーツ推進委員が審判を行う。
- 6 棄権チームのあるブロック、試合の取扱いは以下のとおりとする。
 - ① 棄権チームの全ての試合のスコアを15-0の2セットとし、相手チームの勝利とする。
 - ② 棄権チームのあるブロックの順位決定は、すべての試合を対象とする。
ただし、1位チームの決定については、勝ち試合数の多いチームとする。
勝ち試合数が同数となった場合は、対象チームによる1セットマッチを行い決定する。
- 7 スコアについてはラリーポイント制とし、ローテーションは一般の部をサイドアウトローテーション、ファミリーの部はポイントローテーションとする。
- 8 メンバーチェンジは、セット間のみ可能とする。しかし、やむを得ない場合のみ、選手交代を可とする。
- 9 タイムアウトはなしとする。
- 10 1セット10分ルールを採用する（ラリー中であっても中断）。なお、セットの最初のサーブを打った時点から時間を計測する。
- 11 10分ルールの関係で両チームの最終スコアが同点となった場合、チーム代表者1名がじゃんけんを行い、勝敗を決める。